

ISO 9001:2015ギャップ分析シート

箇条	タイトル／要求事項 (☆決定determine／◎文書化した情報)	ギャップの特定 (新：旧)	ギャップ分析 (対応策)
4	組織の状況		
4.1	組織及び組織の状況の理解 ☆内部及び外部の課題の決定	☆細部に亘った分析がなされていない	☆外部・内部環境分析表の作成
4.2	利害関係者の期待及びニーズの理解 ☆QMSに関連する利害関係者 ☆QMSに関連する利害関係者の要求事項	☆顧客の以外の利害関係者が未特定 ☆安全施工について要求事項が未特定	☆エンドユーザーを追加 ☆要求事項に安全施工を追加
4.3	品質マネジメントシステムの適用範囲の決定 ☆適用範囲 ◎文書化した情報（維持）	☆下請工事及び民間受注工事をQMSから除外している	☆受注工事すべてをQMSの適用範囲とする
4.4	品質マネジメントシステム及びプロセス ☆QMSのプロセス及び運用 ◎文書化した情報（維持・保持）	☆なし：プロセス図及びフロー図作成済み	☆フロー図の箇条番号修正と追加のみ実施する
5	リーダーシップ		
5.1	リーダーシップ及びコミットメント		
5.1.1	一般 (リーダーシップ及びコミットメントの実証)	☆QMSの有効性に対する説明責任について未規定	☆マニュアルでの規定内容を変更
5.1.2	顧客重視	☆法規制要求事項を明確化していない	☆法令等、規制要求事項登録票を作成
5.2	方針		
5.2.1	品質方針の確立	☆組織の戦略的な方向性を支援する旨の規定がない	☆組織の戦略的な方向性を支援する旨の内容を追加
5.2.2	品質方針の伝達 ◎文書化した情報（維持）	☆なし：現状で、問題なし	
5.3	組織の役割、責任及び権限	☆なし：現状で、問題なし	(管理責任者の任命は継続する)
6	6 計画		
6.1	リスク及び機会への取組み ☆取り組むべきリスク及び機会		
6.2	品質目標及びそれを達成するための計画策定 ◎文書化した情報（維持）		
6.3	変更の計画		